

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

公 実 用 昭 和 6 2 - 7 2 0 3

⑤ 日 本 国 特 許 庁 (J P)

⑩ 実 用 新 案 出 願 公 開

⑫ 公 開 実 用 新 案 公 報 (U) 昭 6 2 - 6 7 2 0 3

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公 開 昭 和 6 2 年 (1 9 8 7) 4 月 2 7 日

G 0 1 B 3 / 5 6
5 / 2 4

7 4 2 8 - 2 F
7 4 2 8 - 2 F

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考 案 の 名 称 開 先 角 度 計 測 器

⑯ 実 願 昭 6 0 - 1 5 8 9 7 5

⑰ 出 願 昭 6 0 (1 9 8 5) 1 0 月 1 7 日

⑱ 考 案 者 森 孝 治 長 崎 市 飽 の 浦 町 1 番 1 号 三 菱 重 工 業 株 式 会 社 長 崎 造 船 所
内

⑲ 考 案 者 森 孝 信 長 崎 市 飽 の 浦 町 1 番 1 号 三 菱 重 工 業 株 式 会 社 長 崎 造 船 所
内

⑳ 出 願 人 三 菱 重 工 業 株 式 会 社 東 京 都 千 代 田 区 丸 の 内 2 丁 目 5 番 1 号

㉑ 代 理 人 弁 理 士 坂 間 暁 外 2 名

明 細 書

1. 考案の名称

開先角度計測器

2. 実用新案登録請求の範囲

直板状の本尺とその長手方向に移動可能に外装されたスケールと本尺の両面にそれぞれ本尺の先端に一端をスライドに他端を蝶番を介して架設され本尺を中心として対象形に蝶番により屈折可能に形成された一对のアームと本尺の先端において両アームが形成する角度がスライドの位置により指示されるように本尺面に刻設された目盛とを具えてなることを特徴とする開先角度計測器。

8. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、溶接における任意のV形開先角度を計測できる計測器に関する。

〔考案が解決しようとする問題点〕

第2図は開先角度を計測する従来の角度ゲ-

ジの断面図にして、図に示すように角度ゲージは薄鋼板等で製作されており、断面は計測をしようとする角度を頂部とする三角形をなしている。しかし、これを使用して溶接前にV型開先角度を検査する場合は開先の最大角度、最小角度、標準角度等数種類の角度ゲージを準備する必要がある、また開先角度が公差を外れた場合、何度外れているのか不明で、公差内にあっても正確な角度が把握できない場合がある等の問題を有している。

〔問題点を解決するための手段〕

本考案に係る開先角度計測器は前記問題点を解決することを目的にしており、直板状の本尺とその長手方向に移動可能に外装されたスケールと本尺の両面にそれぞれ本尺の先端に一端をスライドに他端を蝶番を介して架設され本尺を中心として対象形に蝶番により屈折可能に形成された一对のアームと本尺の先端において両アームが形成する角度がスライドの位置により指

示されるように本尺面に刻設された目盛とを具えてなる構成を特徴としている。

〔作用および効果〕

これにより、溶接しようとする個所に本尺の先端を当接して両アームを開先に合わせれば、開先角度がスライドにより本尺面の目盛に示されるので、溶接における開先角度の計測が簡単にできて良否の判定が容易になる。また、目盛にスライドを合わせれば本尺の先端に任意の角度が両アームにより形成されるので、複数の角度ゲージを準備する必要がなくなる等の効果が奏せられる。

〔実施例〕

本考案に係る開先角度計測器を実施例に基づき説明する。第1図は本考案の一実施例に係る開先角度計測器の斜視図にして、図において本尺1の最下部に蝶番5により一对のアーム8を左右に取り付け、回動できるようにしている。アーム8はその中間部を蝶番5で継がれ折れ曲

がっている。そのアーム 8 の上部は本尺 1 にスライド可能に装着されたスライド 2 に蝶番 5 を介して取り付けであり、このアーム 8 は左右の長さが同じでスライド 1 の上下動に対して開閉するようになっており、下部の左右のアーム 8 により作られた角度が本尺 1 の目盛 6 に示されるようになっていゐる。スライド 2 には半固定用のツマミ 4 が付いている。

これにより、溶接しようとする個所に本尺 1 の最下部を当接してアーム 8 を開先に合わせれば、開先角度がスライド 2 により本尺 1 面の目盛 6 に示される。また、目盛 6 にスライド 2 を合わせてツマミ 4 で固定すれば、本尺 1 の最下部に任意の開先角度がアーム 8 により形成される。

4. 図面の簡単な説明

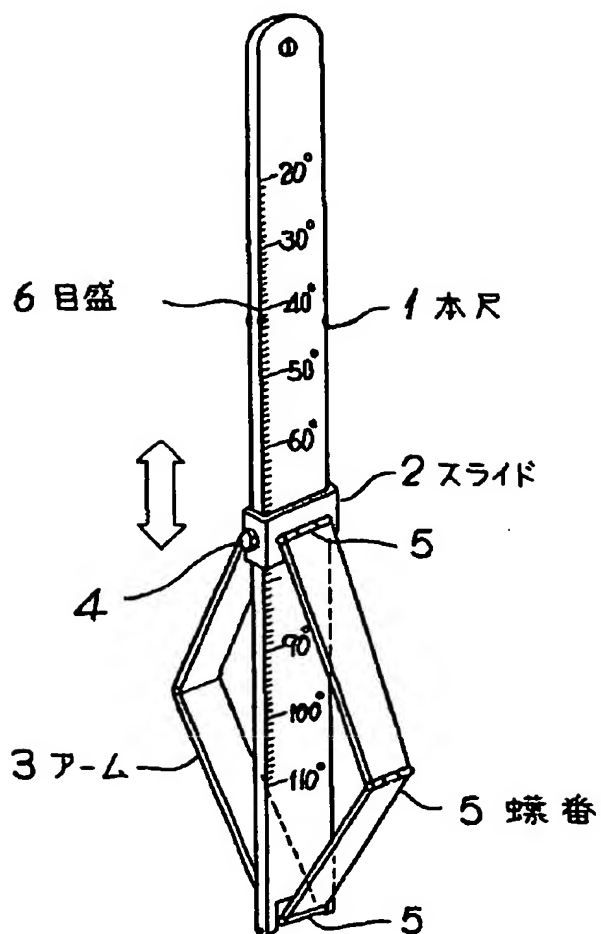
第 1 図は本考案の一実施例に係る開先角度計測器の斜視図、第 2 図は従来の^{角度}垂直~~角度~~ページの断面図である。

1字削除
2字加入

1 … 本尺， 2 … スライド， 3 … アーム， 5 …
蝶番， 6 … 目盛。

代理人 坂 間 曉

第1図



第2図

